

討論 「在宅介護」の今、これから放談～福祉サービスと市民活動(ボランティア)による相互乗り入れ支援のうまいあり方はあるのか。その可能性を ーる。

司会=矢野●今日、集ってもらった在宅介護・在宅福祉の現状ととも、介護、地域福祉にボランティアや市民活動の目指す所を話せればと思います。じゃあ、まず塩澤さんから。

■介護保険は契約主義と競争原理の二本柱。そこで抜け落ちたのが「本来の福祉」 給付抑もあるし、一、の限界を品ざるを得ない … ーゃあ、次に誰とやれるかだ

塩澤●老人ホームの施設長やってますが、施設運営する法人側から見ても間違いなく「在宅」の流れで。ただ在宅福祉を実現するのに、あ、までも公的な福祉、くのか、それ、一定の見切りをつけ

て(限界を見て)、家族か、または“新しいコミュニティ”でいくのかの、かれ道にあると思います。確実な、だけで解決する方はもう「ない」。要は「介護保険に付き合いきれるか、限界を見ているか」ということ。

介護保険が乗っているのは「利用者本位」から入って現実としての「契約主義」。て「介護の社会化・市場門戸開放」入り口から入って「競争原理」。この二本綴じです。介護保険、抜け落ちた最大のものが「本来の福祉」なんですよ。

矢野●契約主義と競争原理によって抜けたのが本来の福祉だと。

塩澤●政府が介護給付の抑制をしているので、国の金や介護、ない。そこで「出の持っている力でよ」という現状です。私たち社会福祉法人、投ざ込まれたのは「場の世界」で、その中で営利、はならない。市場原理と社会福祉、ととも持っているマインドが違う。「別の根っこ」は保ちながら、市場競争生きるという葛藤、いる。

ただ、社会福祉法人の限界、手、P Oやボランティアとでやるサービスも少しずつ作っています。法律と上に付き、いながらなので大胆にはできません。

ウチでは「介護保険を補完する」名目で、便利屋+介護屋さんみたいな「暮らしのサポート事業」を4月から、ました。要は自分のお金で買うサービスですが、例えば、介護保険でやっちゃだめよ」という墓参りとか、救急車

乗っていく家族が、ない時」とか。今後は職員だけでは支えきれないので、地域のボランティアや、手、習いのあるセミプロ等に移行すると思います。

開始の理

「あの人は、飲んでった」
高田●そうなんですよ。私も「申しわけない、
かわいそう」思っても勤務時はその線は っ
かり引いていました。あ

菊池●利用者一人に対して担 議がある
ん すね。でも普通はそこにボランティアは
入れてもらえないでしょ？

高田●そう す。ボランティアは本当に入れ
もらえないです ケアマネさんの意識もあ
ると思いますが。会議には一人の利用者に、
医者や訪問看護婦、ヘルパー、民生 員、福
祉協力員

パーなど福祉のブ
ロ なさを指 てるだけのことも多
い。高田さんは「プロのことも分かっている優
秀なボランティア」なわけだ。そういう人でな
いと会議への参加は無理だ と よ。

塩澤●ボランティアだけで在宅は成立しな
い。だから、高田

ティア」がほしい
。

■もう、いっぱいいっぱい！「家
族、家族って言わないで」って感
◆これからの社会は働き方も変えな
いと会社も従業員も共倒れかも。

矢野●では次に、在宅介護の真っ最中の菊池
さん。

菊池●「介護は、家族が理解 下さいって」よ
く言

施設を地域化するかってというのが今課題だから、それを渾然とさせましょうというのが今の考え。
矢野●さっきのテーマに戻るけど、いわゆるプロとしてやるべきこと、例えば「

「Q〇み たないものはどうでもいいよ」となる。

■在宅を可能にする生き方は「それまでのネットワーク」だと思う 隣人、近所の人、 訪が訪ねてくれる、 くれる… 子どもがいなくてもネットワークがあるかどうか。
■「お節介する・される」、「地域で目配せしながら生きる」がポイント

矢野●さて、量 に■中さん。配合ボランティアが見た在宅生活を。
山中●私は今、「い とこ取り」の食事サービスボランティアを ています。思うのは在宅でいられる高齢者の特徴はやっぱりあるかな、 。それは、その年齢まで 、どういうネットワークで生きてきたか、その場所で生きてきたかとか、あるいは家族との関わり、■とか。そん いろんな、その暮らしの文化みたいなのも全部含めて、在宅を ■にしているものがあるような気がします。

矢野●性格はどんなの？
山中●性格は「ここにこ」か、「きつい」かどっちか。小学生の子ども連れてお弁当配達に行ったら、帰り 「あのおばちゃん怖いね」っ いう。その怖い顔

する生き方は「そ■」。隣の人とか、近所の人か、友達がどんだけ訪ねてくれるとか、物くれるとかそういう 子どもがいなくても、そのネットワークがあるかどうか。民生委員さんとうまくやっているかどうか。あとは「生き方」みたいな。

高田●そうだね。 情 見
ているおじちゃんとか、一人■
ていうのは、キレイだよ。庭も、家
の中も。
山中●難しいのは、ヘルパーさんが入ると戸
なって動いて疲れてる人。■とは
好みがあんまりにも強■ぎる人。食べ物にあ
れは嫌いこれは嫌いとかってあんまり嗜好が
強■ ぎると、そういうサービスは利用できな
いでしょ。肉は嫌■ 「あれはそうめん、うどん、
はるさめ、いとこんにゃく、長いものは
■
●食事で■とにかく全部いち

言う、そこ___でしてやりたくない営利法人なんかは引いて(撤退して)いくんですよ。
■れを■る社
会福祉法人系や市民活動系は、そうしないと
やっている存在意義がなくなっ■ちゃうから。
山中●問題■そ を評 できるかな。■
澤●だから、今の評価は「サービスの質■
まく言えな
い■のはあまり■標化してない。だから結局

か。自分の自転車で動ける範囲をくまなく回って、何かや¹□²るんでよ。母は自分の生活をどうするかは常に考えて生きている。「最後まで自分できちっと生きてい³が⁴ば、どんな人とも関⁵わ

たおじいちゃん
がて、その後すぐパーキンソンで健康を害
ちゃっ⁶■⁷出できない。
だから奥さんは知ってるけど旦那さんとは没交渉。⁸6.0歳ちょこ⁹ふ¹⁰とくらいでやめて楽しんだら良かったのになと思うよね。働けることが生きが¹¹いだ¹²ったんだけれど、やっぱりほどほどで地域に戻って目配¹³な¹⁴が¹⁵■¹⁶地域と上手に付き合っていく必要はあると思う。
菊池●¹⁷た¹⁸けど、男の人はやっぱ、お節介なおばちゃんを¹⁹合²⁰して構って²¹■²²らわないと難しいよね。
矢野●²³男でも自営業的な人はお節介力あるんだよな。自営業だと自²⁴己²⁵で時間²⁶■²⁷コントロールできるから。